

がんの再発率

《いったん治っても…》

がんの再発

組織的に確認されたがんが治療によって臨床的に消失し、一定期間を経過した後に、同部位または近辺に再び同じ組織型のがんが発生すること。ただし、がんの再燃(ホルモン療法等で体に残っているものの休眠状態にあったがんが、再び活発に増殖に転じる)や多発がんは除外する。厳密には治療によって根絶されず耐え抜いたがん細胞が時間を経て成長し、臨床的に発見された場合が再発である。

●肺がん

・再発率(非小細胞がん・根治手術可)

	(1年)	(3年)	(5年)
IA期	1%	5%	11%
IIA期	3%	12%	18%

■IIA期術後3年以内の再発率



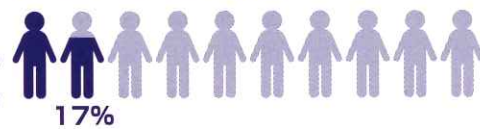
*肺がんは組織の種類によって、非小細胞がん(腺がん、扁平上皮がん、大細胞がん)と小細胞がんに区分される。小細胞がんは進行が速く、診断時に約10%で脳転移が見られる。手術適応はほとんどない。また、ホルモン産生腫瘍としても知られていて、ACTH(副腎皮質刺激ホルモン)などを産生するため、高血圧が見られることがある。

●胃がん

・再発率

	(1年)	(3年)	(5年)
IA期	0%	5%	8%
II期	3%	17%	21%

■II期術後3年以内の再発率

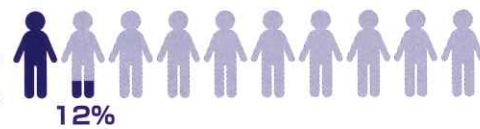


●子宮頸がん

・再発率

	(1年)	(3年)	(5年)
I期	0%	4%	13%
II期	5%	12%	23%

■II期術後3年以内の再発率



●食道がん

・再発率

	(1年)	(3年)	(5年)
I期	5%	12%	23%
II期	15%	44%	57%

■II期術後3年以内の再発率

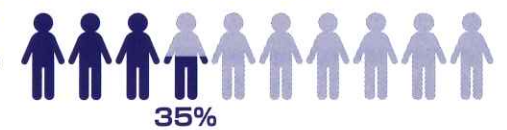


●膵臓がん

・再発率

	(1年)	(3年)	(5年)
I期	15%	35~42%	45~60%

■I期術後3年以内の再発率



●子宮体がん

・再発率

	(1年)	(3年)	(5年)
I期	1%	6%	9%
II期	3%	11%	13%

■II期術後3年以内の再発率

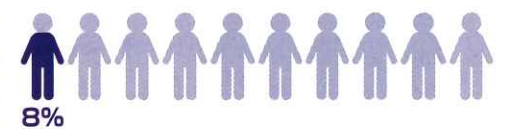


●大腸がん

・再発率

	(3年)	(5年)
I期	1~3%	5%
II期	8~10%	12~15%
III期	18~25%	25%
III B期		40%

■II期術後3年以内の再発率



●乳がん

・再発率

全体で手術後10年以内に23%
(乳房温存手術後の乳房内
1年間再発率0.8%、5年5%)

なお、再発した場合は局所再発が約3割、
遠隔転移が約7割

■術後10年以内の再発率

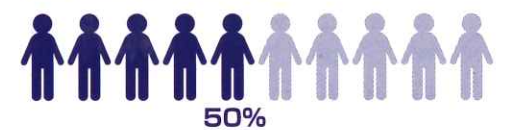


●肝がん

・再発率

原発性の肝細胞がんの場合、
切除術後3年で46~55%と
著しく高い

■術後3年以内の再発率



※再発率は術式(どのような手術、処置をしたか)などにより、大きく異なっています。